

医療リベラルアーツ

責任者・コーディネーター	病理学講座(病態解析学分野) 入江 太朗 教授				
担当講座(分野)	日程表の担当教員(講座 分野)欄に別に示す。				
対象学年	3	区分・時間数	前期 後期	講義/演習	実習
期間	通期			10.5時間	00.0時間
				7.5時間	00.0時間

学修方針（講義概要等）

多様な価値観を持つ他者を理解し、広い視野に立った物の見方や考え方ができるようになること、さらに歯科医療に必要な専門英語を習得することを目的として、ディスカッション形式を活用した演習・講義を実施する。本科目の修得により医療に必要なコミュニケーションスキルの向上と、歯科臨床の現場で使用される歯学英语基本用語を再確認できる。4年次専門英語の演習・講義を行うに足る歯学専門英語の知識を確実に身につけることができる。

教育成果（アウトカム）

他領域で活躍している講師による講義・演習を通して、多様な価値観を持つ他者を理解し、広い視野に立った物の見方や考え方が形成される。歯科医療に必要な専門英語を習得することにより、医療に必要なコミュニケーションスキルの向上と構想力が養われる。

（関連するディプロマポリシー：1、4、6、7）

事前事後学修の具体的内容及び時間

ユニット1～7については、シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、一般書やインターネット等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。事前学習内容をノートにまとめ当日持参すること。

ユニット8～12については、各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分を要する。WebClassにテキストの音声ファイルを公開する。適宜、事前学修内容の発表時間を設ける。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/7 (金)	3	川村央隆非常勤講師 (岩手県国際交流協会)	ユニット1 多文化共生 外国人患者への対応方法を習得する。	1. 多文化共生社会の定義を述べる。 2. 異なる価値観、異文化理解の必要性を述べる。 3. 外国人患者が来た時の対応方法を述べる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。 [A-4-1]-①、②]
講義	4/28 (金)	3	小野寺憲一非常勤講師 (岩手医科大学総合保安対策室長)	ユニット2 モンスターペイシエントへの対応 患者とのトラブル防止及び回避方法を習得する。	1. 医療と悪質クレームの関係、およびクレマーの例を述べる。 2. モンスターペイシエントのタイプを列举する。 3. 診療時に暴力事案が発生した場合の処理要領を述べる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。 [A-4-2]-①～⑦]
講義	5/12 (金)	3	矢野明非常勤講師 (岩手生物工学研究センター)	ユニット3 食と健康 地域の農林水産資源が有する健康機能性について学び、疾病予防への活用可能性を理解する。	1. 食の機能を知る。 2. 日本社会の人口構成変化を背景とした、健康づくりの重要性を学ぶ。 3. 岩手県の農林水産資源に含まれる有効成分や、その活用事例を知る。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。

講義	5/19 (金)	3	吉田亮非常勤講師 (元 ホテルメトロ ポリタン盛岡総支配 人)	ユニット4 接遇とクレーム処理 良好な対人関係を築くため、ホテルサービスを事例として提示し、接遇の特性とサービスの満足度、およびクレームの発生メカニズムを習得する。	1. 接遇を定義し、その特性を述べる。 2. 事前期待と実績評価の関係を説明する。 3. サービス（接遇）の満足度の決定要素を列挙できる。 4. クレーム発生のメカニズムとその原因を分析し、対応策を述べる。 5. 実務上難しい取組と簡単な取組を説明できる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。 [A-4-2]-①～⑦]
講義	5/19 (金)	4	島貫亮一非常勤講師 (トミーインターナ ショナル)	ユニット5 矯正歯科材料の開発から 販売まで 歯科材料の製品化までの流れを理解する。	1. 歯科材料のマーケティングを説明する。 2. 製品の企画、開発、販売の流れを述べる。 3. 企業の分業体制を説明できる。 4. 企業がグローバル化する背景を述べる。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。 [A-2-2-①、② D-1-①、⑤、⑥]
講義	5/26 (金)	3	二瓶直登非常勤講師 (福島大学食農 学類准教授)	ユニット6 食品と放射能 放射能事故による人体への影響を正しく理解するため、食品の放射線学的安全性について修得する。	1. 放射線被ばくに関する単位を列挙する。 2. 外部被曝と内部被曝の違いを述べる。 3. 身の回りの放射線について述べる。 4. 体内と食品中の自然放射性物質を列挙する。 5. 食品の放射能に関する基準値の考え方を説明する。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。また、スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う。 [B-2-4]-①、②]

講義	6/2 (金)	3	堀江皓非常勤講師 (岩手大学名誉教授)	ユニット7 産学連携による地域産業 おこし 産学連携による地域産業 おこしについて理解する。	1. 我が国の産学連携の歴史について説明する。 2. 産学連携機関とその役割について説明する。 3. 産学連携の具体的手法と技術移転例について説明する。 アクティブラーニング：ディスカッション形式の講義を行う。 ICT、事前学習：講義内容に準じる領域についてインターネット等で検索し講義に臨むこと。 [A-8-1]-①～③]
講義	9/11 (月)	3	James Hobbs教授 (教養教育センター 外国語学科英語分野)	ユニット8 医学／歯科の基本用語 (1) 基礎的な医学/歯科用語 を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 [A-7-2)-①]
講義	9/13 (水)	1	DTP担当教員	ユニット9 医学／歯科の基本用語 (2) 基礎的な歯科用語を習得 する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. DTP分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
講義	10/6 (金)	1	TxAD担当教員	ユニット10 医学／歯科の基本用語 (3) 基礎的な歯科用語を習得 する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 [A-7-2)-①]
講義	10/16 (月)	1	TxAD担当教員	ユニット11 医学／歯科の基本用語 (4) 基礎的な歯科用語を習得 する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. TxAD分野に関連した歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。 [A-7-2)-①]
講義	2/6 (火)	1	入江太郎教授 (病理学講座 病態解析学) 間山寿代准教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学)	ユニット12 医学・歯学の基本用語/ 演習1 (到達度評価試験)	1. 客観的な評価 (到達度評価試験) をうけ、達成度と理解度を知る。 2. 結果のフィードバックを受け、英語での理解度、コミュニケーション力の向上をはかる。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	Medical Terminology A short course 9th ed.	Davi-Ellen Chabner	Saunders	2023年
参	Dental Terminology 3rd ed.	Charline M Dofka	Delmar Cengage Learning	2013年

成績評価方法・基準・配点割合等

1. 回ユニット1～7までは、各ユニットで提出したレポートで評価する。
2. 回ユニット8～12までは、英語到達度評価試験で評価する。
3. 本科目（医療リベラルアーツ）の評価は、前者（レポート）を7/12、後者（英語到達度評価試験）を5/12の割合で算出し、総合評価点とする。
4. 回ユニット1～7で欠席した場合、あるいは期日内にレポート提出がない場合は、当該ユニットの評価を0とする。
5. 総合評価点が65点未満の学生には、全範囲（ユニット1～12）を対象とする再試験を課す。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

- ・スマートフォン等を利用したクイズを講義中に行う場合、指示に従いインターネットに接続できるように準備すること。
- ・ユニット8～12の専門英語に関しては、WebClassにテキストの音声ファイルを公開するので、活用すること。
- ・英語到達度評価試験により達成度と理解度を評価し、試験答案の返却（フィードバック）をおこなう。
- ・各回到達目標の内容を使用するテキスト・音声ファイルとともに事前に教科書で調べることを。各回30分を目安とする。各々個人で、英語での理解度、コミュニケーション力の向上に努めること。

授業に使用する機械・器具と使用目的 …特記すべき器械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的